

音楽か、英語か どちらもできる仕事を見つけよう！

しおり
詩織



大阪府立夕陽丘高校*

わたしの好きなもの

言葉：ありがとう（谢谢。用大阪方言的语调）、めっちゃ♪（非常。大阪方言）

作曲家：シューマン（舒曼）、ベートーヴェン（贝多芬）、バッハ（巴赫）

食べ物：フルーツ（水果）、特にメロン（甜瓜）、スイカ（西瓜）、桃（桃子）！
スパゲティ（意大利面）、特にたらこスパゲティ（咸鳕鱼子意大利面）とピザ（比萨饼）



わたしにとって、音楽と英語はどちらも、とても大切です。ピアノは4歳のときからずっと習っています。小学校4年生のときに、友だちといっしょに英会話学校に行くようになりました。英会話学校では、主に会話の練習をするのですが、それがとても楽しかったです。英語は、そのときからずっと勉強しています。『OC』のような、アメリカやオーストラリアなどの学生生活のドラマにも、たくさん影響を受けました。校則がなかったり、車で学校に行ったりと、自由な雰囲気にとってもあこがれます。そういうドラマに出ている人たちにとって英語は自分たちの言葉なので、英語を話すのは普通のことです。でも、自然に英語を話す様子がとてもかっこいいと思いました。こういうドラマを見ると、「わたしもこのドラマの世界に入りたい」と思います。

高校選択：音楽か、英語か

中学1年生になって、学校で英語を勉強するようになりました。でも、そのときの英語の授業はただ教科書を勉強するだけで、とてもつまらなく感じました。そして、学校の英語の授業がとても嫌いになってしまいました。わたしが英語の授業をまた好きになれたのは、2年生のときの英語の先生のおかげです。その先生は、教科書だけでなく、自分で作ったプリントを使いながら教えてくれました。また、実際に使える日常会話の表現なども教えてくれました。英語とスペイン語をとっても上手に話す先生で、わたしも、先生のように英語を話せるようになりたいと思いました。この英語の先生に出会って、英語の勉強が本当に好きになりました。

中学に入って部活動^(注1)を始めました。部活動とピアノを両方続けられるように、ほかの部より休みが多い水泳部を選びました。中学1年生のときには、ピアノと水泳部の活動をなんとか両立させていました。でも、放課後に英会話学校や塾にも通っていた

ので、毎日が本当に忙しかったです。そして、2年生になったばかりの春、とうとう限界がきました。水泳は夏に大会があるので、春から夏までの練習がいちばん大事です。でも、ピアノも夏にコンクールと発表会があります。このままでは両方とも中途半端になるし、体力的にもとてもきついと思いました。わたしにとって水泳は趣味ですが、音楽と英語はこれからずっと続けていきたい、自分にとってとても大切なものだと考えました。それで、自分で納得して、水泳部をやめました。

それから、英語を中心に勉強できる高校に進むか、それとも夕陽丘高校に進んで音楽を専攻するか、真剣に悩むようになりました。3年生になって、高校の入学試験の願書を出すときがきても、まだ決めることができませんでした。そのときの担任の先生は、生徒一人ひとりのことを愛情をもって考えてくれる人でした。わたしの進路についても、熱心に相談ののってくれました。あるとき、先生がわたしにこう言いました。「英語の勉強は、あとでやりたいと思ってもやれる。先生がもし詩織ちゃんだったら、夕陽丘高校を受けてみる」。たしかに、ピアノは一度やめてしまったら、あとでまたやりたいと思っても、もう取りもどせないと思いました。そこで、高校では音楽を専攻して、英語は自分で勉強しようと決めました。

音楽を専攻して

夕陽丘高校の音楽科では、専攻のピアノや副専攻の声乐のほ



学校のピアノのレッスン。週に1回、個人レッスンがある。 ©Yoshizato Hiroko

か、音楽理論や音楽史など、音楽についていろいろなことを専門的に勉強します。演奏会の機会もたくさんあるし、ウィーンでの音楽研修プログラムなどもあります。ピアノなどのレッスンでは、曲の細かいところまで深く理解して表現することが求められます。例えば、ペダルの踏み方では、自分が表現したいことによって、ペダルの調節のしかたがいろいろあるということを学びました。先生にはいつも、「あなたはどのようなことを表現したいと思って演奏しているか」と聞かれます。高校に入る前もピアノは一生懸命やっていたつもりです。でも、今思うと、前は何も考えないで演奏していたのかもしれませんが。高校で音楽を専攻して、「音楽ってこんなに深いものなんだ」と知りました。今は、音楽はおもしろい、もっと勉強したいと思っています。

音楽の仲間たち

音楽科で出会ったクラスメートたちは、わたしにとってとても大切な存在です。あるとき、ピアノのテスト中に、曲の途中で演奏できなくなったことがあります。コンクールの直前だったのですが、そのせいで、人前でピアノを弾くのが怖くなってしまいました。そんなわたしの気持ちがわかったのか、クラスメートたちが、「わたしたちの前でちょっとピアノを弾いてみる？」と声をかけてくれました。そこで、放課後、みんなの前で弾いてみたら、自分の気持ちがとても落ち着きました。そして、無事にコンクールで演奏することができました。こういうところが、やっぱり音楽の仲間なんだと思います。中学までのクラスメートはいっしょにいて楽しい存在でしたが、高校のクラスメートたちは、音楽についてわかり合える、お互いを高め合うように励まし合える存在です。みんながすごくがんばっているのがわかるから、わたしもがんばろうと思えます。

夕陽丘高校で国際交流も体験!

入学前は知らなかったのですが、夕陽丘高校は英語教育や国際交流にも熱心な学校でした。いろいろな国から短期や長期の留学生が来ます。2年生のときは国際交流委員会の幹部になって、留学生の歓送迎会の企画や運営などもしました。また、

同じ2年生の夏には、学校のニュージーランド英語研修に参加しました。わたしは、高校に入る前にも、英会話学校のオーストラリア研修など、海外研修には何回か参加したことがありました。だから、この研修では、「初めて海外研修に参加するほかの人たちと同じ気持ちではだめ。英語を積極的にたくさんしゃべろう!」と思いました。ニュージーランドの受け入れ校の授業は、夕陽丘高校の生徒のための特別授業で

した。わたしは先生たちにお願いで、研修中にわたしのバディ^(注2)になった子の普通の授業に参加させてもらいました。わたしのバディになった子は、学校代表もやっているような忙しい子でした。だからなのか、わたしとの交流にはあまり興味がないのかなと感じることもありました。最初は、その子が何を言っているのかなかなかわからなくて、すぐに仲良くなることができませんでした。その子と友だちが話しているのを見て、いっしょに話したいなあと思っても、あまり話せなくて辛くなりました。そして、自分もつと英語を話せたら、もっとこの子と仲良くなれるのにと思いました。今でもその子の写真を見ると、次にこの子と会うときは英語でたくさん話せるように英語の勉強をがんばろうと思います。でも、ほかにすごく仲良くなった女の子がいて、その子とはずっとメールや手紙のやりとりをしています。演奏会の前に、その子に「すごく緊張する」と手紙を書くと、「自信をもって。強い気持ちでがんばって」と励ましてくれます。日本の友だちも同じように励ましてくれますが、海外の子から言われると、特別につながっているなあという気がして、すごく勇気をもらえます。ニュージーランドで出会った友だちやそこで過ごした時間のことは、今でも毎日のように思い出します。わたしにとって、とても大切な時間だったと思います。

音楽も英語も生かせる仕事したい!

高校を選ぶときには、音楽をとるか英語をとるかとても迷いました。でも、夕陽丘高校に入って、結果的には音楽も英語もますます好きになることができました。将来は、わたしにとって大切な音楽と大好きな英語、そして教えることをいっしょにできる仕事したいと思います。教える仕事に興味をもったのは、中学2年のときの英語の先生と中学3年のときの担任の先生の影響が大きいです。この2人の先生に出会って、自分の人生は大きく変わりました。わたしも、生徒にいい影響を与えられるような先生になりたいです。自分の将来のために、高校を卒業したら教育大に進みたいと考えています。

*本人の希望により、保護者の方と学校の許可を得て、学校名を記載しました。
注1、注2は中文訳を参照してください。



ニュージーランドの研修旅行に持っていった手作りの自己紹介ノート。家族や学校生活、日本のこと、自分がこれまでに行った国のことなどを写真つきで紹介している。